

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは コーポレートコミュニケーション部

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 FAX 075-312-0493 <https://www.gs-yuasa.com/jp>

2022 年 10 月 6 日  
株式会社 GSユアサ

## 令和 3 年度新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」受賞案件における 太陽光発電の有効活用に貢献

株式会社 GSユアサ（社長：村尾 修、本社：京都市南区。以下、GSユアサ）が 2019 年に蓄電システムを納入した Sport & Do Resort リソルの森<sup>※1</sup>（以下、「リソルの森」）の「地産地消エネルギーシステム」<sup>※2</sup>が 2022 年 1 月に一般財団法人 新エネルギー財団主催の令和 3 年度新エネ大賞<sup>※3</sup>において、「新エネルギー財団会長賞」を受賞されました。（リソル土地開発株式会社、リソルの森株式会社、東京電力ホールディングス株式会社、株式会社東光高岳の 4 社の共同受賞）

GSユアサが納入した蓄電システムは、パワーコンディショナ「ラインバック オメガ ES」と産業用リチウムイオン電池「LIM50EL」で構成されており、太陽光発電の余剰電力を蓄電池に充電することで、天候によって変動する太陽光発電を有効利用する役割を担っています。本納入においては、GSユアサの豊富なラインアップにより、用途・容量に応じた最適なシステム提案ができたこと、また「ラインバック オメガ ES」がエネルギーマネジメントシステムによる制御に対応可能な点が評価されました。

今後も GSユアサは、蓄電システムの拡販を通じて、再生可能エネルギーの地産地消や系統の調整力を担い、再生可能エネルギーのさらなる導入拡大と 2050 年のカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

※1 リゾートホテル・ゴルフ場・スポーツトレーニングセンターを中心とする施設と定住型のマンション・戸建ての複合郊外型コミュニティです。

※2 太陽光発電の電力を自営線と自己託送とを組み合わせる自家消費するシステム。なお自営線は、事業者が自ら敷設した電力用の電線で、自己託送は、既存の送配電ネットワークを活用した自己の需要箇所などへの電力供給のこと。FIT 制度に依ることなく再生可能エネルギーを送り、既存の送配電ネットワークを活用することで社会的コストの最適化ができます。

※3 一般財団法人 新エネルギー財団主催の新エネ大賞は、新エネルギーの一層の導入促進と普及および啓発を図るため、新エネルギーに係る商品および新エネルギーの導入、あるいは普及啓発活動を広く募集し、そのうち優れた案件を表彰するものです。

【概要】

蓄電システム（パワーコンディショナ）	ラインバック オメガ ES
産業用リチウムイオン電池	LIM50EL シリーズ
出力容量	100kW
蓄電容量	100kWh

【写真】

ラインバック オメガ ES



LIM50EL シリーズ



---

[この件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 産業電池電源事業部 事業企画本部

TEL 03-5402-5820

[この件に関する報道関係からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ コーポレートコミュニケーション部

TEL 075-312-1214